Q-AOS

ブラウンバッグセミナー

Brown Bag Seminar No.062

オンライン
録画期間限定公開
(Zoom)
登録はこちら

2022 8.24（水） 12:10〜12:50

12:10-12:15	◆ 演者紹介
12:15-12:40	◆ プレゼン
12:40-12:50	◆ 質疑応答

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_DdRwstEdTcexiIlm2-9Opw

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

昆虫食の心理学

司会：田中 俊徳 准教授（Q-AOS 研究推進コーディネーター）

錢 琨 准教授

アジア・オセアニア研究教育機構

1983年中国山東省生まれ。2005年中国青島大学文学部卒業後留日し，2012年3月に九州大学大学院人間環境学府博士後期課程修了し，博士号（心理学）を取得しました。日本学術振興会特別研究員 DC2，アビームコンサルティング株式会社コンサルタント，九州大学持続可能な社会のための決断科学センター助教，福岡大学人文学部専任講師を経て2022年4月より現職に着任しました。様々な社会状況や文化における人間の認知と行動を理解するための心理学研究を行っています。

2 飢餓をゼロに　3 すべての人に健康と福祉を　12 つくる責任 つかう責任　13 気候変動に具体的な対策を

世界的食料問題の解決や食肉価格高騰の対策として，昆虫食は持続可能な動物性タンパク源として大いに期待され，国連食糧農業機関（FAO）をはじめ国際的に推進されています。これまでの伝統食のイメージと違い，日本や世界各地ではいま昆虫食のフードイノベーションが起きており，新たな試みとして昆虫食商品や料理が開発されています。一方で，昆虫食の利点が十分に理解できたとしても，食べない人は食べないことがわかっています。様々な技術開発や企業努力で作られた昆虫食は，最終的に食用されるかどうかを決めるのは人間のこころなのです。昆虫食の心理学研究は，なぜ人間は虫を食べるのが嫌なのか，その原因究明と対策方法であると考えています。

Key Words

昆虫食
心理
食料問題

Q-AOS

Contact Information　Kyushu University Institute for Asian and Oceanian Studies (Q-AOS)　744 Motooka, Nishi-Ku, Fukuoka-City, 819-0395, JAPAN　Tel: +81-092-802-2603